

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

項目番号	カテゴリ	チェック項目	環境・社会・経済分野の区分			取組レベル	取組事項に○をつけてください	【非該当】の場合、選任入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1 持続可能な開発目標	2 飢餓をゼロに	3 良好な健康と長寿を達成する	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 清潔な水と衛生をみんなに	7 再生可能エネルギーをみんなに	8 持続可能な成長を創出しよう	9 産業、科学、技術イノベーションをすすめる	10 人や国ごとの格差をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 消費の持続可能性を高めよう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 公正で平和な社会を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	○			基本（必須）	○		・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる不当な差別を認めず、従業員一人ひとりを尊重した職場づくりに取り組んでいる。					●			●		●						●	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備し、ハラスメントがないことを確認している	○			基本（必須）	○		・いかなるハラスメントも許容しない旨を就業規則に明記されている。					●			●								●	
3		【ワーク・ライフ・バランス】 ・過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワーク・ライフ・バランスを推進している	○			基本（必須）	○		・過度な長時間労働の防止と仕事と家庭の両立支援を目的として、所定労働時間の短縮や会社の所定休日の拡充など、働きやすい就業環境の整備に取り組んでいる。					●			●									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認するとともに、日本語教育の充実や地域住民との交流促進など、受入環境整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・現在、外国人労働者は雇用していないが、採用活動においては国籍による差別を行わず、応募者に対して公正かつ公平な選考を実施する方針としている。				●				●		●							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・定期的に労働安全衛生に関する社内会議を開催し、現場での事例共有や安全対策の見直し、最新の安全設備の導入を行うなど、安全で衛生的な労働環境の維持・向上に継続して取り組んでいる。			●					●									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・メンタルヘルス不調への対応を目的とした休職制度を整備し、あわせて外部相談窓口の周知（ポスター掲示等）を通じて、従業員が早期に相談・支援を受けられる体制の構築に取り組んでいる。			●														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる				基本（必須）	○		・人事考課制度を適切に運用し、性別、年齢、国籍、障がいの有無などの多様な背景にかかわらず、公平・公正な評価を行うことで、すべての人材が能力を発揮し、活躍できる職場づくりに努めている。					●			●		●							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	○			基本（必須）	○		・職務や役割に応じて、外部の専門機関が実施する研修や業務に必要な技能講習への参加を積極的に推進し、従業員の知識・技能の向上と人材育成を支援する社内研修の整備に取り組んでいる。				●	●			●	●								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	○			基本（必須）	○		・社員区分による不合理な取扱いを行わず、同一労働同一賃金の原則に基づき、職務内容や責任に応じた公正かつ適正な待遇の確保に取り組んでいる。					●			●		●							
10		【就業制度の改善】 ・子育てなど一人ひとりのライフスタイルに合わせた就業制度の導入、ワークライフバランスの実現に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・育児・介護休業規程を、常に法令に準拠しつつ、従業員一人ひとりの家庭環境やライフステージに応じた柔軟な制度運用となるよう、就業制度の継続的な改善に取り組んでいる。	●		●		●			●		●						●	
11	環境	【男性育休の取得推進】 ・男性の育児休業が取得しやすい職場環境づくりに努め、子育てと仕事の両立に積極的に取り組めるよう、有給休暇制度等を設けている	○			基本（必須）	○		・男性社員に対して育児休業制度の周知徹底および相談体制の整備を行い、男性の育児休業取得を積極的に促進することで、子育てと仕事の両立を支援している。			●	●			●		●								
12		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）	○		・スポーツジムの法人会員契約を行い、心と身体の健康維持に取り組んでいる。 ・健康増進に関わる費用の補助を行い、健康維持に役立てている。			●					●									
13		【生活困窮者の雇用・生活支援】 ・ひとり親、就職氷河期の非正規雇用者、失職者など生活困窮者の採用、生活環境改善の支援、職能・人材育成に積極的に取り組んでいる	○			チャレンジ（任意）				●	●	●		●			●		●	●					●	
14		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・廃棄物の種類ごとに保管方法を定めるとともに、建設マニフェスト制度を活用し、排出から最終処理までの流れを適切に管理することで、適正な産業廃棄物処理体制を構築している。										●	●		●				
15		【エネルギーの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本（必須）	○		・ガス、水道、電気・車両燃料等エネルギー使用の現状把握・分析を行うとともに、その結果を省エネルギー活動へのフィードバックする上で、改善の取組を推進している。							●				●						
16		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、CO2の削減など排出の抑制に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・自社における太陽光発電設備の設置、電気自動車（EV）の導入、照明のLED化、高効率設備の導入、ならびに社員への省エネルギー活動の啓発を通じて、CO2排出量の削減に積極的に取り組んでいる。					●		●				●	●					
17		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	○			基本（必須）	○		・現場で取り扱う有害化学物質については、取組事項を確認し、適切な取扱方法を守って安全に対応するよう取り組んでいる。			●			●				●	●						

項 番 号	カテ ゴリ	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非財務】の 報告 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
			環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																										
18	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本 （必須）	○		・産業廃棄物の適正な管理や省エネルギー活動の推進を通じて、環境負荷の低減に努め、地球環境および生態系の保全に取り組んでいる。							●							●	●		
19		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		・使用した備品については、廃棄する前に社内での再利用を検討し積極的に活用することで、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進に取り組んでいる。									●			●					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・自家消費型再生可能エネルギーの利用に取り組むとともに、省エネの促進に取り組んでいる	○		○	基本 （必須）	○		・再生可能エネルギー由来の電力（実質再生エネルギー）を利用することで温室効果ガス削減に加え、低炭素社会への実現に向けた取組を推進している。							●					●					
21		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	○			チャレンジ （任意）										●										
22		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	○			チャレンジ （任意）							●			●			●	●	●	●				
23		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	○			チャレンジ （任意）													●							
24	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の保全と持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）										●		●	●	●	●					
25		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知し、徹底している	○			基本 （必須）	○		・就業規則の服務規律において贈収賄禁止を含む行動規範を整備し、贈収賄防止の徹底に向けて社員への周知・啓発を行っている。															●		
26		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知し、徹底している	○			基本 （必須）	○		・工事において相見積りを実施し、公正な競争に基づく透明性の高い発注を徹底するため、その重要性について社員への周知・啓発を行っている。															●		
27		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	○			基本 （必須）	○		・弊社では、特許・商標等の知的財産権に関わる業務は行っていないが、知的財産権の重要性を認識し、第三者の権利を侵害することのないよう、法令および関連ルールを遵守した事業活動に努めている。									●	●							
28		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	○			基本 （必須）	○		・就業規則に個人情報保護に関する規定を整備し、個人情報の適正な管理・保護を徹底している。															●		
29		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	○		○	チャレンジ （任意）																		●		
30		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	○	○		チャレンジ （任意）								●			●		●	●	●	●	●	●	●	
31		【パートナーシップ構築宣言】（RS.9.5～追加） ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/			○	チャレンジ （任意）							●					●	●	●					●	

項目 番号	チェック項目	環境・社会・経済 分野の区分			取組 レベル	取組事項に ○をつけて ください	【非該当】の 場合 選択入力	具体的な取組	主なSDGs（17ゴール）関連項目																
		環境	社会	経済					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																									
32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		・工事完了後の引渡し時に、設備の取扱い方法や安全上の注意事項について丁寧で分かりやすい説明を行い、お客様が安全に製品・設備を利用できるよう支援している。			●							●							
33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している			○	基本 （必須）	○		・資格取得や外部の専門機関が実施する研修・技能講習への参加を通じて、社員の知識・技能の向上を図り、品質保証の強化に努めている。									●								
34	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	○		○	チャレンジ （任意）									●					●	●	●	●			
35	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
36	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している		○	○	基本 （必須）	○		・地域に密着した歴史あるガス・水道事業者として、安全・安心なライフラインを支える高品質なサービスを提供し、地域住民の豊かな暮らしと整った住環境づくりに貢献している。				●					●		●	●		●	●	●	
37	【社会貢献活動】 ・寄付、地域活動への参加など持続的な社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		○	○	チャレンジ （任意）	○		・総務省消防庁消防団協力事業所表示制度に加入している。 ・自動販売機の売り上げの一部を日本赤十字社へ寄付を行っている。					●					●			●	●		●	
38	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している		○	○	チャレンジ （任意）											●	●		●	●	●				
39	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している		○		基本 （必須）	○		・経営理念を明文化し、会社が目指す方向性を全社員で共有するとともに、定期的に開催する全体会議で営業状況を全社員が把握することで、目標に対する現状認識を統一し、組織全体の一体感の醸成に取り組んでいる。									●	●						●	
40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している		○		基本 （必須）	○		・法令遵守を経営上の重要事項と位置付け、関係法令の把握と遵守を徹底するとともに、適正な業務運営を継続できる体制づくりに取り組んでいる。																●	
41	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している		○		基本 （必須）	○		・現時点では、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する専門部署は設置しておりませんが、関連する事項については社長および関係当事者が必要に応じて対応しています。																●	
42	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）		○		基本 （必須）	○		・ステークホルダーの意見や動向を適宜把握し、自社の事業活動へ具体的に反映できるよう、継続的な検討と改善に取り組んでいる。																●	●
43	【DXの推進】 ・デジタル技術を積極的に活用し、職員等の業務効率化や生産性向上に積極的に取り組んでいる		○	○	基本 （必須）	○		・社内業務のDX化を経営上の重要課題と位置付け、適切なタイミングで必要な機器やシステムの導入を進め、業務の効率化と生産性の向上に取り組んでいます。			●						●	●							
44	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、職場安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している		○		チャレンジ （任意）																			●	
45	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		○		チャレンジ （任意）																			●	
46	【事業継続】 ・過去の地震や水害などを教訓として事故や災害、さらにサイバー攻撃などの発生における事業継続計画を立案している		○		チャレンジ （任意）												●		●				●		
47	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		○		チャレンジ （任意）											●	●							●	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組の「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、【予定】と補記してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、「チェック項目」に関する具体的な取組を記載してください。